



イスラエルのルーマニア系ユダヤ人 人口：500,000人

■大勢の人たちが、パレスチナの地をひと目見ようと、熱い思いにかられて人をかき分けながら船端に集まる。彼らはルーマニアからのハルツィム(開拓者たち)である。今日あるイスラエルの古い村々の多くは、17世紀から続いた少数のルーマニアからの移民によって開拓されたものである。1948年(建国)以前のイスラエルはパレスチナと呼ばれ、領土の多くが湿地や砂漠に覆われていた。現在イスラエルは、海外に住むルーマニア人の最も大きな共同体となっている。

■ユダヤ人は、ローマ帝国の時代からルーマニアに住んでいた。1492年、スペインから追放されたユダヤ人の中のある人たちが、ルーマニアに定住するようになった。そして、ユダヤ人の共同体生活が始まったのである。ルーマニアに住むユダヤ人の歴史は、ヨーロッパのほかのユダヤ人共同体と同様、平和な時期もあれば、激しい迫害の時期もあった。18世紀、ロシアとトルコが戦争している間、ユダヤ人は特に苦しめられた。1878年のベルリン条約により、ユダヤ人にも平等の権利が与えられたが、ルーマニア政府はそれに従うことを拒否したのである。

■1920年代と30年代のルーマニアは、ファシズムと反ユダヤ主義の時代であり、そこには80万人ものユダヤ人が暮らしていた。そのことが、第二次世界大戦勃発の下地となり、この戦争で何十万人ものルーマニア系ユダヤ人が命を落とすこととなった。そして、その多くは、ルーマニア軍や「鉄衛団」と呼ばれる、過激派のファシスト武装集団に虐殺された。大勢の人がドイツ人の手によってではなく、同国人の手で殺されたのである。

■ルーマニアと国境を接するウクライナのトランスニストリア地方では、ドイツ軍とルーマニア軍に占領された後、ユダヤ人の集住地域となった。第二次世界大戦の間、35万人ものユダヤ人がそこで監禁され、彼らの行く末は、寒さ、飢え、病気による死であった。結局、10万人以上のユダヤ人が犠牲となり、6,500人の子どもたちが孤児となった。そのような人たちの多くは、今日もイスラエルで生活している。

■第二次世界大戦後の3年間、わずか3万人のユダヤ人だけが、ルーマニアからパレスチナに逃れた。イギリスの支配権により課せられた、ユダヤ人の帰還禁止令のためである。ルーマニアのユダヤ人に集団帰還の機会が訪れたのは、1948年のイスラエル建国宣言の後である。48年から51年までには、延べ30万人のユダヤ人が、緊急動員という形で、続々とイスラエルに帰還することができた。

■残された人々にとって飢餓と抑圧は、ルーマニアの共産主義体制を特徴付けるものだった。外交努力を通して何とかそれから逃れたルーマニアのラビのリーダーは、不動産、自動車、お金で「自由」を買い取れることをユダヤ人に許可する、独裁権を認めさせたのである。

■今日、ルーマニア系のユダヤ人は、イスラエル社会のあらゆる分野に融合しているが、まだ共同体としっかり結び付いている。そして、歴史の皮肉なことに、彼らは、わずか一世代前に脱出したルーマニアを、イスラ

エルの技術や事業をもって援助し、共産主義崩壊後のルーマニアの再建になくてはならない存在なのである。

「主はあなたがたを取って、鉄の炉エジプトから連れ出し、今日のように、ご自分の所有の民とされた。」(申命4:20)

祈りの課題

☆ イスラエルのルーマニア系ユダヤ人がメシアのことを知り、そしてメシアの中に平和を見いだすことができるように。

☆ 彼らの苦難の過去から生じた、絶望、悲観、拒絶、悲しみ、恥意識を、主が取り除いてくださるように。

☆ 神が、ルーマニア系ユダヤ人をメシアにあるご計画と召しに導き、ご自身のために、彼らの文化を回復させてくださるように。

☆ ルーマニアの文化に強い影響をもたらした、まじないの霊に立ち向かって。また、まじないの霊に付随する、ごまかしや人を操作・支配することに対しても。

☆ ルーマニア系ユダヤ人が高潔さと清さをもって、性的な不品行を克服することができるように。

☆ 神が、彼らの文化に、楽しみと喜びを回復させてくださるように。

☆ 孤児となった方々が、天の父の深いあわれみと癒やしを体験することができるように。
